

HP UPS R5000

インストレーション インストラクション



翻訳版インストラクション

翻訳版のインストラクションについては、HPのWebサイト http://www.hp.com/support/UPSR5000_Manuals (英語) で提供されるマニュアルを参照してください。

概要

HP UPS R5000は3Uのラックマウント型設計のUPSで、最大5000VA/4500Wの負荷を電源障害から保護します。

製品の強化機能を最新の状態で利用するために、UPSファームウェアとソフトウェアを最新バージョンに更新してください。

注：UPSファームウェアとソフトウェアの最新バージョンをダウンロードするには、HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manageを参照してください。

本書で取り扱われている各項目、安全に関する情報、および規定に関するご注意について詳しくは、HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/ups_manualにある『HP UPS R5000ユーザーガイド』を参照してください。

注意事項

本書を大切に保管しておいてください。本書には、UPSとバッテリーの取り付け、操作、およびメンテナンスの際に従うべき安全に関する重要な注意事項が示されています。



警告：高電圧による感電の危険があります。オプションの取り付け、この製品の定期点検および保守については、AC電源製品の取り扱い手順、注意事項、および危険性を熟知している専門の担当者が行ってください。



警告：漏電による感電を防止するために、次の点に注意してください。

- 商用電源との接続が切断されている状態でUPSを操作しないでください。
- UPSと商用電源の接続を切断する前に、負荷装置の接続を切り離してください。



57kg
126lb

UPSにこの記号が付いている場合は、1人で安全に取り扱うことができる重量を超えていることを示します。

警告：けがや装置の損傷を防ぐために、ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。

Important Safety Information

Before installation, read *Important Safety Information* on the Documentation CD. .Documentation CD قبل التثبيت، اقرأ معلومات هامة حول السلامة على القرص المضغوط

Před instalací si přečtěte příručku *Důležité bezpečnostní informace* na disku CD.

安裝之前，請閱讀文檔 CD 上的重要安全信息。

安裝前，請閱讀說明文件光碟上的「重要的安全性資訊」。

Les dokumentet Vigtige sikkerhedsoplysninger på dokumentations-cd'en, for produktet installeres.

Lesen Sie vor der Installation die *Sicherheitshinweise* auf der Documentation CD.

Enne installimist vt dokumentatsiooni CD-lt peatükki „Tähtis ohutusteave“.

Antes de la instalación, lea la sección *Información de seguridad importante* del CD Documentación.

Avant l'installation, lisez les *informations importantes relatives à la sécurité* CD Documentation.

Πριν την εγκατάσταση, διαβάστε *Σημαντικές πληροφορίες ασφαλείας* στο CD Documentation.

לפני ההתקנה, קרא את המידע הבטיחותי החשוב שב-Documentation CD.

Prije ugradnje, pročitaite *Važne sigurnosne informacije* na dokumentacijskom CD-u.

Prima dell'installazione, leggere sul CD le *Informazioni importanti sulla sicurezza*.

インストール前に、Documentation CDの『安全に使用していただくために』をお読みください。

설치하기 전에 Documentation CD의 주요 안전 수칙을 읽으십시오.

Pirms instalācijas, izlasiet drošības informāciju dokumentācijas CD.

Telepítés előtt olvassa el a dokumentációs CD *Fontos biztonsági tudnivalók* dokumentumát.

Lees de *Belangrijke veiligheidsinformatie* op de documentatie-cd voordat u de installatie uitvoert.

Les "Viktigt sikkerhetsinformasjon" på dokumentasjons-CDen før du installerer dette produktet.

Przed instalacją przeczytaj *Ważne informacje dotyczące bezpieczeństwa* na dysku CD Documentación.

Antes da instalação, leia as *Informações Importantes sobre Segurança* no CD da Documentação.

Перед установкой ознакомьтесь с разделом *Указания по технике безопасности* на компакт-диске «Документация».

Pred inštaláciou si prečítajte časť *Dôležité bezpečnostné informácie* na disku Documentation CD.

Pred nameštviyo preberite *Pomembne varnostne informacije* na CD-ju Documentation.

Tärkeisiin turvatietoihin" Documentation CD -levyllä ennen tuotteen asentamista.

Läs dokumentet *Viktig säkerhetsinformation* på dokumentations-cd:n innan du installerar denna produkt.

Yüklemeden önce, Documentation CD'sindeki *Önemli Güvenlik Bilgileri*'ni okuyun.

Перед установкою прочитайте *Важливі відомості з безпеки* на CD документатії.

Translated instructions

For translated instructions, see the documentation provided on the HP website (http://www.hp.com/support/UPSR5000_Manuals).

Traductions des présentes instructions

Les versions traduites des présentes instructions sont disponibles dans un des documents fournis sur la page d'assistance technique spécifique au produit sur le site Web HP

(http://www.hp.com/support/UPSR5000_Manuals).

Übersetzungen dieser Anweisungen

Übersetzte Versionen dieser Anweisungen sind in einem der Dokumente verfügbar, die auf der produktspezifischen Support-Seite der HP Website (http://www.hp.com/support/UPSR5000_Manuals) angeboten werden.

Traduzioni di queste istruzioni

Le versioni tradotte di queste istruzioni sono disponibili in uno dei documenti forniti nella pagina di supporto specifica del prodotto del sito Web HP (http://www.hp.com/support/UPSR5000_Manuals).

Traducción de estas instrucciones


Existen versiones traducidas de estas instrucciones disponibles en la documentación proporcionada en la página de soporte del producto específico del sitio web de HP

(http://www.hp.com/support/UPSR5000_Manuals).

UPSキットの内容

- 本書
- ドキュメンテーションCD
- HP Infrastructure Management Pack CD

最新のソフトウェア バージョンをダウンロードするには、HPのWebサイトhttp://www.hp.com/jp/servers/ups_manageを参照してください。

 **重要**：既存のHP Management Moduleソフトウェアをインストールしないでください。この装置に必要なHP Power Protectorソフトウェアのみをインストールしてください。

- 保証情報
- レール（角穴および丸穴ラックで使用するマウント用ハードウェア部品付き）
- UPS
- バッテリー モジュール（取り付け済み）
- フロント ベゼル
- HP UPSネットワークモジュール（取り付け済み）
- REPOポートおよびコネクタ ブロック
- コード固定用クリップ
- DB-9 RJ-45設定用ケーブル
- コンピューター インターフェイス ケーブル
- 負荷装置電源用ジャンパー コード
- リア マウンティング ブラケット、プレート、および関連ハードウェア部品
- 正面マウント用タブおよび関連ハードウェア部品

工具と部品


取り付けには以下の工具が必要です。

- プラス ドライバー
- 10mm六角ナット ドライバー

以下の品目はラックに付属しています。

- ネジ
- 六角ナット
- クリップ ナット

設置場所の選定

 **警告**：火災や感電を防止するために、装置は温度および湿度調整が行われ、導電性の汚染物質のない室内に設置してください。


設置場所を選定する際は、次の要因を検討してください。

- 動作時の周囲温度の上昇 - ドアを閉じたラックや多くの装置が搭載されたラックに装置を取り付けると、動作時のラック周囲の周囲温度が室温を超えることがあります。装置は動作温度の要件に準拠する環境に取り付けてください。
- 通気性の低下 - ラック内部で、装置の安全な動作に必要な換気を維持できるようにしてください。


- 回路の過負荷 - 装置の供給回路への接続について検討してください。また、回路が過負荷状態になったとき過電流保護機能および配線に及ぼす影響に注意してください。この問題に対応する際は、装置の銘板に記載されている定格に基づいて適切な判断を行ってください。
- 信頼性のあるアース接続 - ラックマウント型の装置は、必ず、信頼できる方法でアースしてください。延長コードの使用など、分岐回路に直接接続する以外の方法を使用する場合は、その接続部に特に注意を払ってください。
- 電気要件 - すべてのモデルで、ユーザー ガイドの「入力仕様」で説明されている各UPSの定格に準拠する専用（非共有）分岐回路が必要です。

装置の準備


1. 梱包箱に添付のラベルに記載されているバッテリーの再充電日を調べます。

 **重要**：再充電日付を過ぎたバッテリーを使用しないでください。バッテリーを再充電せずにバッテリー再充電日付ラベルに示されている日付を過ぎた場合は、HPのサービス窓口にご連絡ください。

2. 装置を梱包箱に入れたまま、設置場所に搬入します。
3. ラックに近い場所で装置を開梱し、装置を組み立てます。

 **注意**：必ず、一番重いものをラックの最下段に置いて、下から上に順に取り付けてください。

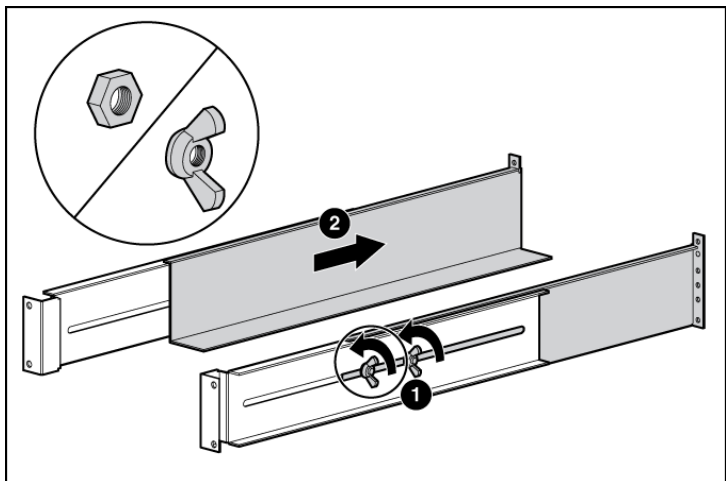
マウンティング レールの取り付け

 **警告**：けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

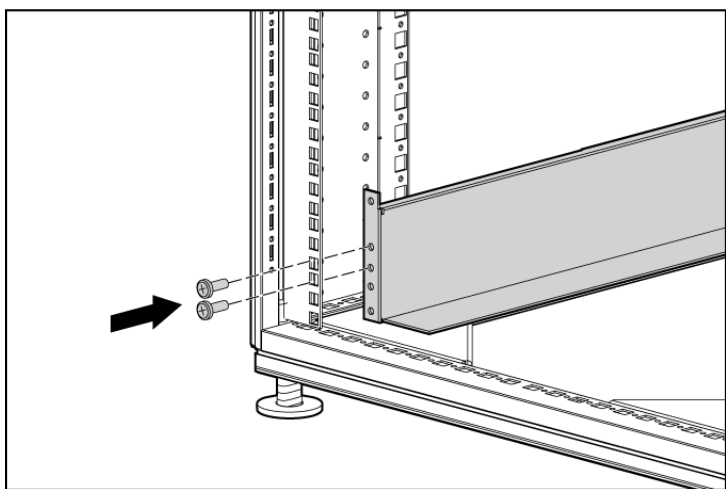
- ラックの水平脚を床まで伸ばしてください。
- ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
- コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

注：角穴および丸穴のラックで使用する固定用ハードウェアはUPSキットに付属しています。

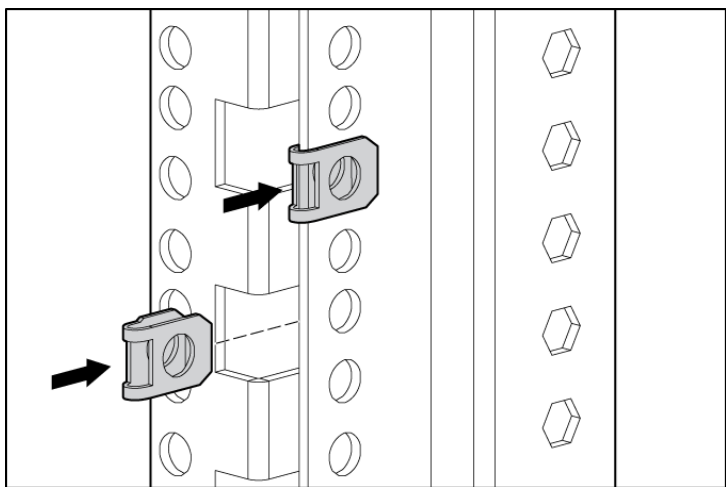
1. ウィング ナットまたは六角ナットを緩めて、ブラケットを適切な長さまで引き出します。



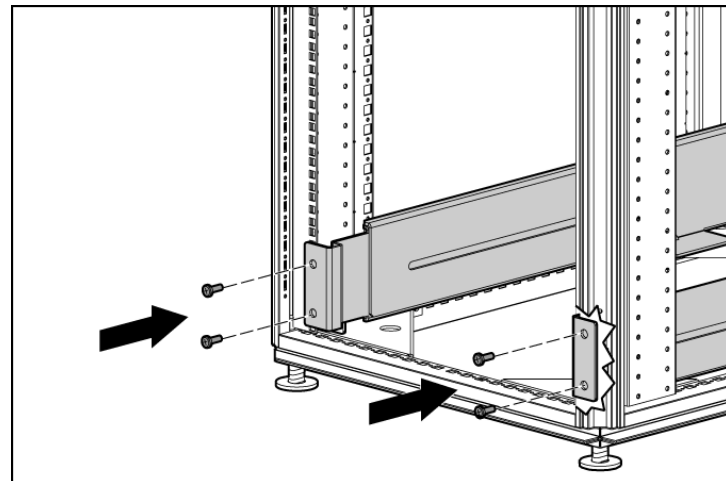
2. ネジをラックに通して、マウンティング レールと各マウンティング ブラケットの正面側に差し込みます。



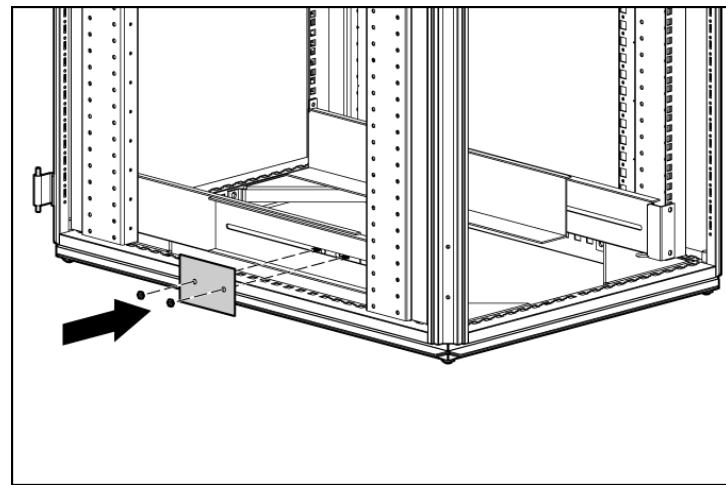
3. クリップ ナットをラックの背面に取り付けます。



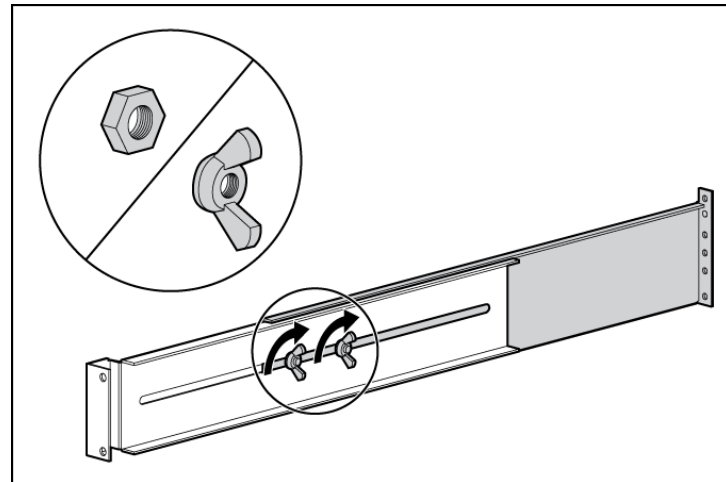
4. ネジをマウンティング レールに通して、クリップ ナットに差し込みます。



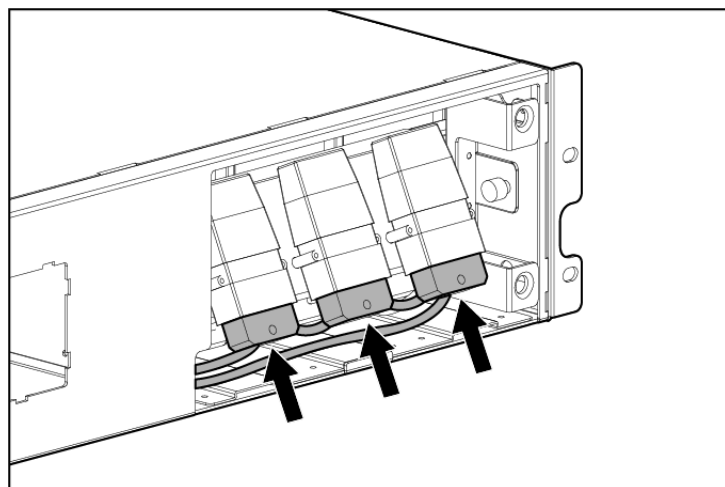
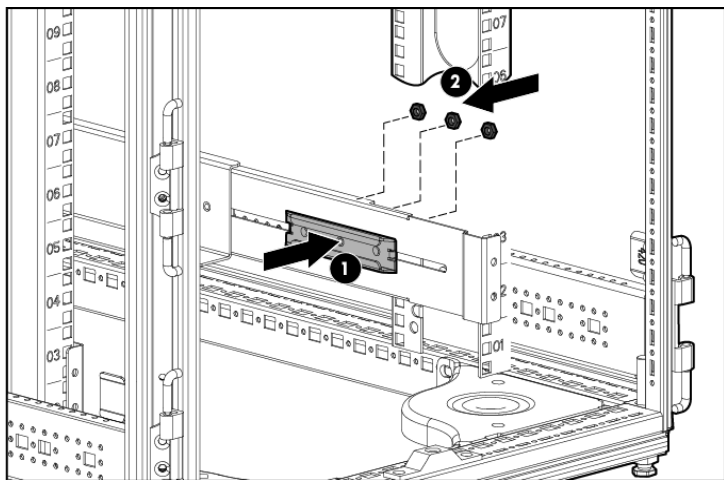
5. レール強化プレートを取り付け、六角ナットを使用して締め付けます。



6. ウィング ナットまたは六角ナットを締めます。



7. レールに含まれているナットではなく、キットに含まれている固定用ワッシャーの六角ナットを使用してください。装置を取り付け、ブラケットを調整してから、ナットを締めます。



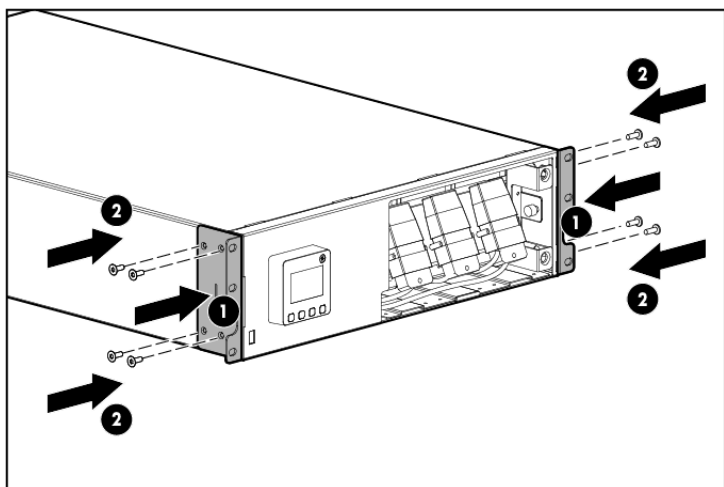
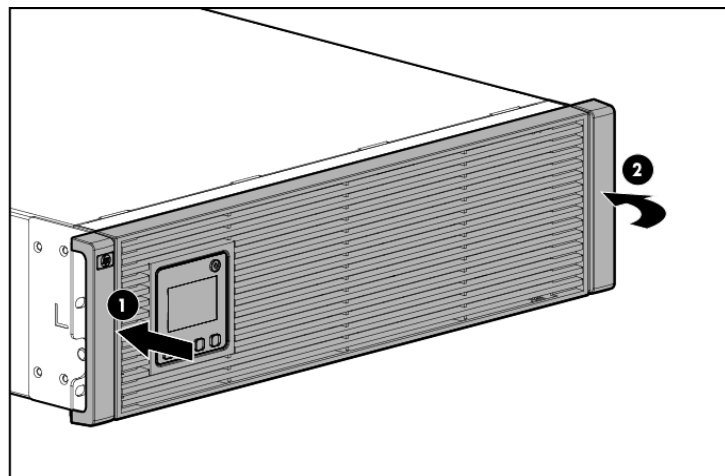
UPS用フロント ベゼルの取り付け

UPSの取り付け

UPSを取り付ける前に、「注意事項」（2ページ）をよく読んで、記載されているすべての警告事項に従うようにしてください。

⚠ 警告：けがや装置の損傷の危険があります。ラックに装置をバランスよく配置しないと、ラックが不安定になることがあります。必ず、一番重いものをラックの最下段に置いて、下から上に順に取り付けてください。

1. マウンティング レールを取り付けます（「マウンティング レールの取り付け」（3ページ）を参照）。
2. 梱包箱の両側に1人ずつ立って、本体を持ち上げラック正面側で床に置きます。
3. 付属のネジを使用して、マウント用タブを本体に取り付けます。



4. 両側に1人ずつ立って、本体をレールの高さまで持ち上げ、スライドさせてマウンティング レールに取り付けます。必ず、ブラケットをスライドさせ、リア固定ブラケットの溝に入れてください。
5. 付属のネジを使用して本体をラックに取り付けます。

バッテリーのリード線の接続

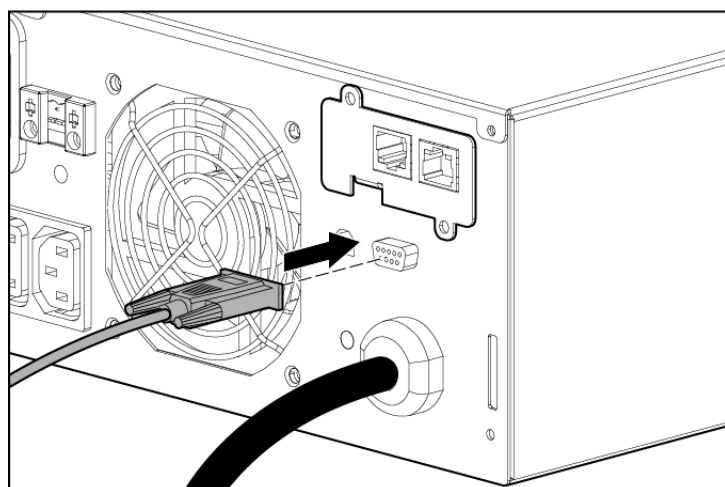
⚠ 警告：感電または装置の損傷を防止するために、バッテリーのリード線を接続する前にリード線のラベルを取り外してください。

シリアル通信ポートの接続

⚠ 注意：通信ポートとホスト コンピューターとの接続には、UPSに付属のコンピューター インターフェイス ケーブルのみを使用してください。

📄 重要：Power Protectorソフトウェアを使用する場合は、通信ポートをホスト コンピューターに正しく接続する必要があります。

注：このポートはファームウェアのアップグレード専用です。詳しくは、『HP UPS R5000ユーザー ガイド』を参照してください。



USB-シリアル コンバーターの設定

注：この手順は、HPのUSB-シリアル コンバーター（製品番号304098-001）を使用して、Windows® XP Professional、Windows Server® 2003、およびWindows® Vista Enterpriseオペレーティング システム上でテストされています。システム構成によっては、正常にコンバーターをインストールするためにドライバーのダウンロードが必要になることがあります。ドライバーは、USBドライバーのWebサイト <http://www.usb-drivers.com/drivers/123/123294.htm> からダウンロードできます。

利用できるシリアル ポートのないシステムでCOM1ポートにUSBポートを設定するには、以下の手順に従ってください。

1. システム上のUSBポートにUSB-シリアル コンバーターを接続します。
2. Windows Vistaの場合は、**[スタート]**をクリックして**[コントロール パネル]**を選択し、**[システムとメンテナンス]**をダブルクリックして、手順4に進みます。

または

Windows XPの場合は、**[スタート]**をクリックして**[コントロール パネル]**を選択し、**[パフォーマンスとメンテナンス]**をダブルクリックして、**[システム]**をクリックします。

または

Windows Serverの場合は、**[スタート]**をクリックして**[コントロール パネル]**を選択し、**[システム]**をダブルクリックします。

3. **[ハードウェア]**タブをクリックします。
4. **[デバイス マネージャ]**をクリックします。[デバイス マネージャ]画面が表示されます。
5. 左のパネルで表示されるツリーで、**[ポート (COMとLPT)]**をクリックして展開します。
6. USB-シリアル コンバーター デバイスに割り当てられているポートをダブルクリックします。このポートは、通常、装置のメーカーの名前になっており、その後、次のいずれかが続きます。
 - USB to Serial Bridge (COM 4)
 - USB Serial port
 - 通信ポート(COM1)
- [ポート プロパティ]画面が表示されます。
7. **[ポートの設定]**タブをクリックします。[ポートの設定]画面が表示されます。
8. **[規定値に戻す]**をクリックします。次のデフォルト設定が表示されます。
 - ビット/秒：9600
 - データ ビット：8
 - パリティ：なし
 - ストップ ビット：1
 - フロー制御：なし
9. **[詳細設定]**をクリックします。[詳細設定]画面が表示されます。
10. [COMポート番号]ドロップ ダウン メニューから、USBポート番号に**[COM1]**を選択し、**[OK]**をクリックします。

[COM1]が他のUSBポートで使用されている場合は、次のメッセージが表示されます。

This COM name is being used by another device. Using duplicate names can lead to inaccessible devices and changed settings. Do you want to continue?

このメッセージが表示されたら、**[YES]**をクリックします。COM1にアクセスしているプログラムを無効にする必要がある場合があります。

a. **[OK]**をクリックします。

b. Windows Vistaの場合は、手順13に進みます。

11. Windows Serverの場合は、下にスクロールして**[1 (低)]**を選択し、受信バッファおよび送信バッファを低い設定にします。
12. **[FIFOバッファを使用する (16550互換のUARTが必要)]**チェックボックスが選択されていることを確認します。

Windows XPの場合は、USB設定が異なる場合があります。リストメニュー、ラジオ ボタン、またはその他の方法を使用して、最も低く信頼性のある受信バッファおよび送信バッファを選択してください。

13. **[OK]**をクリックして[詳細設定]画面を閉じます。
14. **[OK]**をクリックして[デバイス マネージャ]画面を閉じます。
15. ファームウェア フラッシュ バッチ ファイル プログラムを実行します。プログラムの指示に従います。

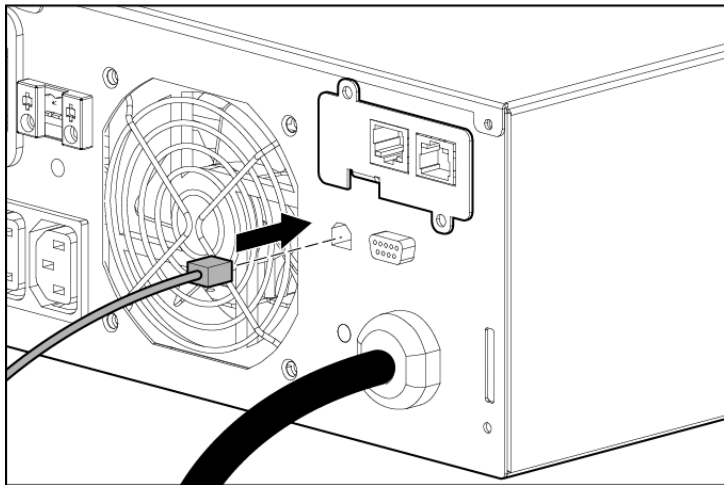
USB COMポートの再割り当て

デバイスをCOM1から別のポートに再割り当てするには、以下の手順に従ってください。

1. [デバイス マネージャ]画面から、COM1に割り当てられているUSBデバイスの位置を確認します。
2. そのポート名をダブルクリックします。
[Port Properties]画面が表示されます。
3. **[ポートの設定]**タブをクリックします。
[ポートの設定]画面が表示されます。
4. **[詳細設定]**をクリックします。
[詳細設定]画面が表示されます。
5. **[COMポート番号]**ドロップダウン メニューから使用可能なUSBポートを選択します。
6. **[OK]**をクリックして[詳細設定]画面を閉じます。
7. **[OK]**をクリックして[ポート設定]画面を閉じます。
8. [デバイス マネージャ]画面で、USB-シリアル コンバーターがCOM1に割り当てられ、他のUSBデバイスが別のポートに割り当てられていることを確認します。
[デバイス マネージャ]画面が自動的に更新されない場合は、以下の手順に従ってください。
 - a. **[操作]**をクリックします。
[操作]メニューが表示されます。
 - b. **[ハードウェア変更のスキャン]**をクリックし、画面を更新して変更内容を表示します。

USB通信ポートの接続

注：このポートはファームウェアのアップグレード専用です。詳しくは、『HP UPS R5000ユーザー ガイド』を参照してください。

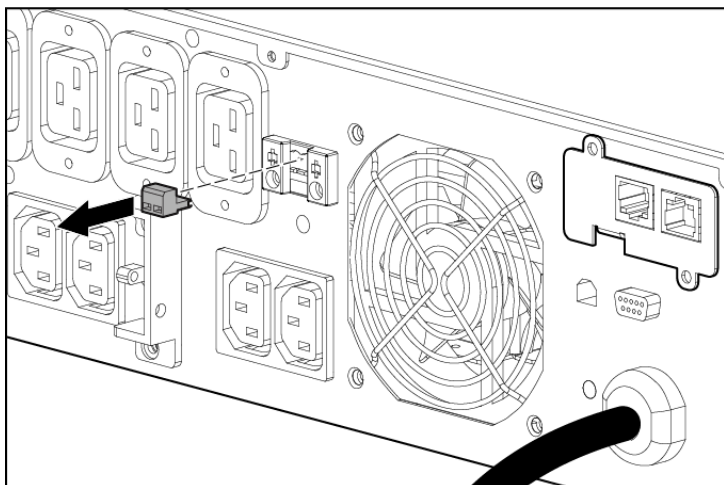


REPOポートの接続

警告： REPOポートのピンには極性があります。REPOポートの接続の際には極性を確認してください。

警告： NEC (NFPA 70) の第645-10条および第645-11条の要件を満たすには、コンピューター室に設置されたUPSを、REPO回路に接続する必要があります。

重要： 出力ソケットに電力を供給できるようにするには、リモートスイッチをオフ（オープン）の位置に設定しておく必要があります。



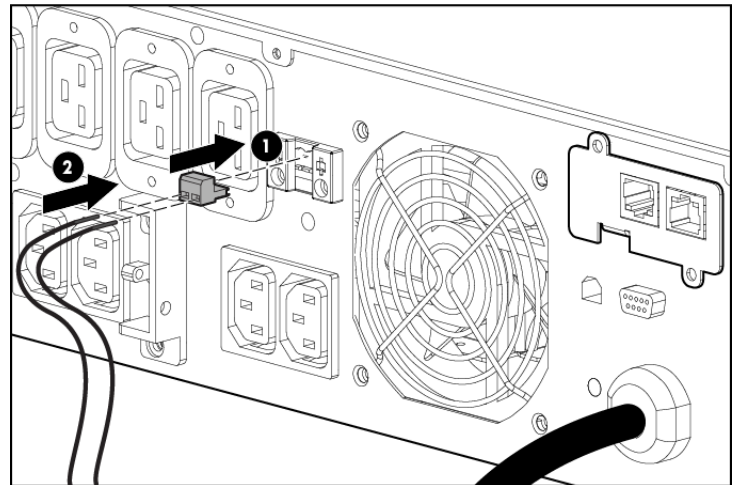
注：コネクター ブロックの配線には、非シールドより線 (AWG #22~#18あるいはその同等品) を使用してください。

並列接続では、1つの常開接点に別々のケーブル ペアが接続されます。プラス線とマイナス線には異なる色を使用するようおすすめします。

コネクターが外れた場合、極性を逆に再接続すると、REPOが開始されます。REPOポートが外れないようにするには、以下の手順に従ってください。

- REPOポートに接続する際に、ケーブルになるべく張力がかからないようにします。
- ケーブルがUPSの背面に垂れ下がらないようにします。

- 結束バンドや結束バンド ブロックを使用して、ラックとUPS背面にケーブルをしっかりと固定します。



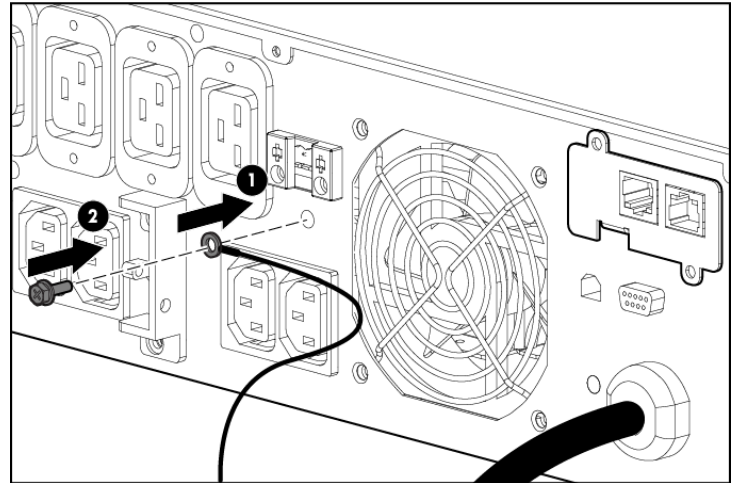
REPOポートについて詳しくは、ユーザー ガイドの「REPOポート」を参照してください。

REPO接続を確認する方法について詳しくは、ユーザー ガイドの「REPOポート接続の確認」を参照してください。

アース用ケーブルの接続

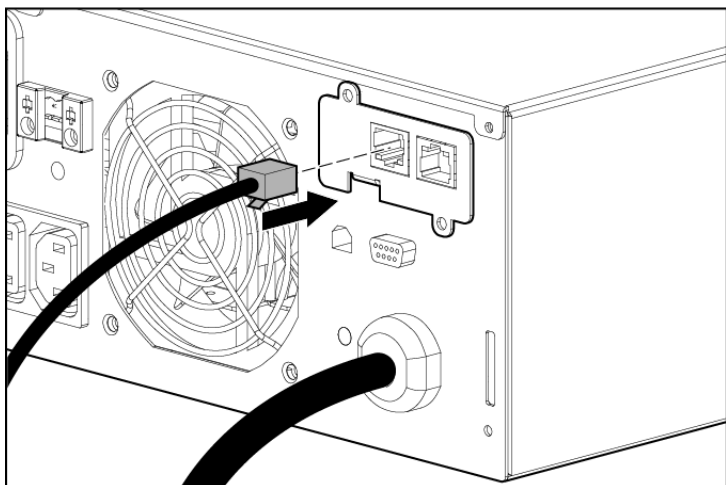
アース用ネジは、導線の取り付け位置に使用します。ラックに、アースされていない金属部品をアースするための導線がある場合、アース用ケーブルを使用してください。

アース用ケーブルは含まれていません。



ネットワーク ケーブルの接続

UPS ネットワークモジュールのネットワーク コネクターとネットワーク ジャックを、標準のEthernetケーブルで接続します。



この接続は、Webインターフェイスを使用してUPS ネットワークモジュールにリモートにアクセスするために使用します。UPS ネットワークモジュールは、設定済みHP Power Protector - Clientとの通信や、SNMPベースの監視を円滑に行うためにネットワーク接続も使用します。

UPS ネットワークモジュールを設定するには、「UPS ネットワークモジュールの設定」(8ページ)を参照してください。

UPSの商用電源への接続

⚠ 警告：感電や装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 入力電源コードは、簡単に手の届くところにある装置付近のアース付きコンセントに接続してください。
- 入力電源コードのアース付きプラグは必ず使用してください。アース付きプラグは、安全上重要な機能です。
- 延長コードは使用しないでください。

UPSをアース付き商用電源コンセントに接続します。UPSは、接続されると自動的にスタンバイ モードに入り、バッテリー充電を開始します。

UPSへの装置の接続

⚠ 注意：UPSの出力ソケットに、レーザー プリンターを接続しないでください。レーザー プリンターは瞬間的に電流を消費するため、UPSが過負荷になる可能性があります。

装置を接続する前に、以下の点を確認してください。

- 装置の定格がUPSの容量を超えていないかどうかを調べて、UPSが過負荷にならないことを確認します。
- 両方の回路ブレーカーの負荷が均等になるように、接続する装置を分散します。各ソケットの最大電流定格については、ユーザーガイドの「UPSの出力仕様」を参照してください。

UPSが過負荷にならないことを確認したら、以下の手順に従ってください。

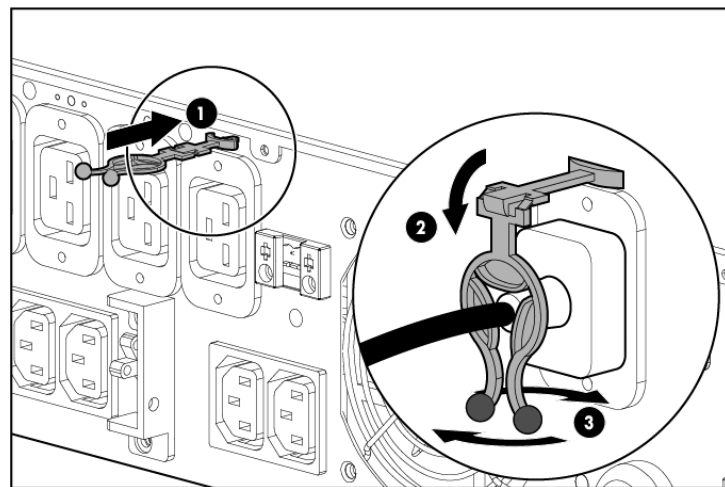
1. ロード セグメント1および2の回路ブレーカーをオンにします。

注：ロード セグメント1の回路ブレーカーは、C19およびC13コンセントを保護しますが、大出力ソケットは保護しません。

2. 装置の電源コードを、UPSのリア パネルにある適切な出力ソケットに接続します。

追加ソケットを提供するには、PDUまたはその他の装置を高電流大出力ソケットに接続します。大出力ソケットは、ロード セグメント1の一部で、パワー マネジメント ソフトウェアを使用してオフとオンを切り替えることができます。

UPSコード固定用クリップの接続



UPSバッテリーの充電

UPSの運用を開始する前に、UPSをスタンバイ モードにしてバッテリーを充電してください。



重要：バッテリーを使用して装置へのバックアップ電源を供給する前に、少なくとも24時間バッテリーを充電してください。バッテリーの充電状態は次のとおりです。

- 3時間以内に容量の80%
- 48時間以内に容量の100%

負荷装置への電力供給の開始

UPSを動作モードに切り替えて、負荷装置への電力供給を開始します。



重要：初めてUPSの動作を開始する場合は、AC電源が供給されていなければなりません。

UPS ネットワークモジュールの設定

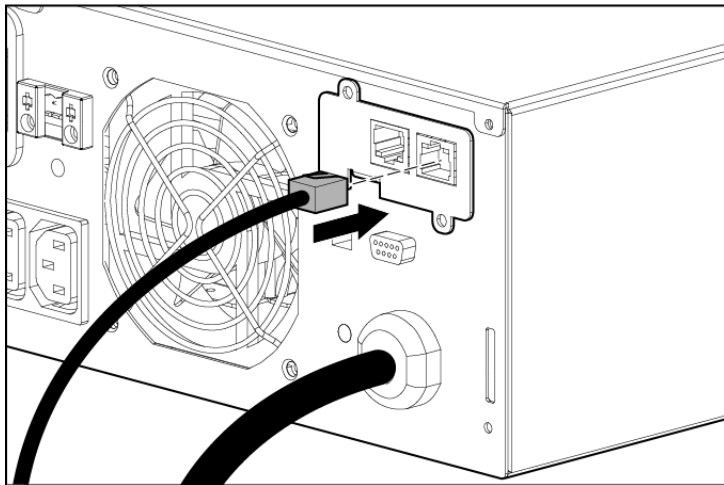
注：UPS ネットワークモジュールについて詳しくは、HP Infrastructure Management PackソフトウェアCDとマニュアルを参照してください。

UPS ネットワークモジュールを設定する前に、ネットワーク ケーブルが接続されている(「ネットワーク ケーブルの接続」(8ページ))ことを確認してください。

設定用ケーブルの接続

1. DB-9 to RJ-45ケーブルのDB-9コネクターをホスト コンピューターのシリアル コネクターに接続します。

2. DB-9 to RJ-45ケーブルのRJ-45コネクタをUPS ネットワークモジュールのSettings/AUXコネクタに接続します。



この接続は、端末エミュレーション プログラムを使用してローカルでUPS ネットワークモジュールにアクセスし、設定する際に使用します。

端末エミュレーション プログラムの起動

注：ハイパーターミナルは、Microsoft® Windows®に付属のシリアル通信プログラムです。この項では、ハイパーターミナルを例に、端末エミュレーション セッションのセットアップについて説明します。別のユーティリティを使用する場合は、手順が異なる可能性があります。

1. UPSの電源が入っていることを確認します。
2. ホスト コンピューターで、[スタート]メニューから[すべてのプログラム]、[アクセサリ]、[通信]、[ハイパーターミナル]の順に選択します。
[接続の設定]ウィンドウが表示されます。
3. 説明を入力し、接続用のアイコンを選んで、**[OK]**をクリックします。[接続の設定]ウィンドウが表示されます。
4. DB-9 to RJ-45アダプターを接続した、ホスト コンピューター上のシリアル コネクタを選択して、**[OK]**をクリックします。[COMのプロパティ]ウィンドウが表示されます。
5. 次のパラメーター値を選択して、**[OK]**をクリックします。
 - ビット/秒 - 9600
 - データ ビット - 8
 - パリティ - なし
 - ストップ ビット - 1
 - フロー制御 - なし

UPS ネットワークモジュールのネットワーク設定の指定

重要：既存のHP Management Moduleソフトウェアをインストールしないでください。この装置に必要なHP Power Protectorソフトウェアのみをインストールしてください。

ホスト コンピューターで動作する端末エミュレーション セッション画面で以下を実行します。

1. 任意のキーを押します。初期化プロセスが完了し、パスワードの入力を求められます。
2. プロンプトで、adminと入力します。HP UPS ネットワークモジュールの[Configuration]メニューが表示されます。

HP UPS ネットワークモジュールの[Configuration]メニューを使用して、UPS ネットワークモジュールのリモートにアクセスするために必要な最小の設定を指定します。



重要：UPS ネットワークモジュールに割り当てるIPアドレスは、固定されている必要があります。IPアドレスが変わると、次の問題が発生します。

- HP Power Protector - ClientがUPS ネットワークモジュールと通信できなくなります。
- UPS ネットワークモジュールのURLが認識されなくなることがあります。

3. ご使用のネットワークがDHCPサーバーを使用するように設定されている場合、ネットワーク設定は自動的に割り当てられます。設定を表示するには、以下の手順に従ってください。
 - a. メイン メニューで、2を入力して[Network Configuration]サブメニューを表示します。
 - b. 1を入力してネットワーク設定を読み取ります。
 - c. IPアドレスを記録します。
 - d. 0を入力してメイン メニューに戻ります。
 - e. 0を入力して[Configuration Menu]を終了します。これで、UPS ネットワークモジュールが動作します。
4. ネットワークがDHCPサーバーを使用するように設定されていない場合は、次の操作を行います。
 - a. メイン メニューで、2を入力して[Network Configuration]サブメニューを表示します。
 - b. 2を入力してネットワーク設定を変更します。
 - c. 画面の手順に従って、静的IPパラメーターを入力します。パラメーターを保存すると、Doneメッセージが表示されます。
 - d. 0を入力してメイン メニューに戻ります。
 - e. 1を入力してリセットし、2を入力して新しいIP設定でUPS ネットワークモジュールを再起動します。

Webインターフェイスへのアクセス



注意：UPS ネットワークモジュールへのブラウザー アクセスを、ファイアウォールまたは分離されたネットワークを使用した外部アクセスから隔離することを強くおすすめします。

1. ネットワーク コンピューターで、サポートされるブラウザーを起動します。ブラウザーのウィンドウが表示されます。
2. [アドレス]フィールド (Microsoft Internet Explorerの場合) または [ロケーション]フィールド (Mozilla、およびFirefoxの場合) に、次を入力します。

http://xxx.xxx.xxx.xxx

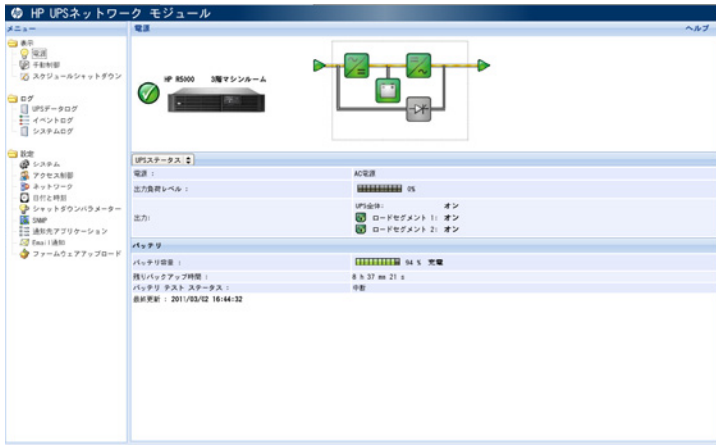
または

https://xxx.xxx.xxx.xxx

ここで、xxx.xxx.xxx.xxxは、UPS ネットワークモジュールの静的IPアドレスです。ログイン画面が表示されます。

3. [ユーザー名]フィールドにユーザー名を入力します。デフォルトのユーザー名はadminです。
4. [パスワード]フィールドにパスワードを入力します。デフォルトのパスワードは、adminです。

5. **[サイン イン]**をクリックします。HP UPS ネットワークモジュールのWebインターフェイスが表示されます。



UPS ネットワークモジュールの設定

HP UPS ネットワークモジュールのWebインターフェイスの[設定]画面を使用して、UPS ネットワークモジュールを設定します。詳しくは、HPのWebサイトhttp://www.hp.com/support/HPNM_UG_jpにある『HP UPS ネットワークモジュール ユーザー ガイド』を参照してください。

© Copyright 2011 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft®、Windows®およびWindows Server®は、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

製品番号 : 637911-191

2011年5月

版数 : 1